

理事会議事録

1. 開催日時 令和5年5月29日(月) 午前11時～午前11時35分
2. 開催場所 静岡 新聞放送会館10階会議室
3. 理事の総数 7名
4. 出席した理事数 7名

内訳 大石 剛(議長)

原 尚弘・鈴木 善彦・落合 偉洲・小野田 全宏・山城 厚生・

松井 妙子

出席した監事数 1名

内訳 望月 利洋

5. 議事録作成者 業務執行理事 原 尚弘
6. 議長選任の経過

定刻、事務局より定款に議長選出の規定がない為、当会の議長として代表理事大石剛を議長候補とする旨を議場に提案したところ出席者全員の賛同を得た為、代表理事大石剛を議長に選出。議長は、当理事会は理事7名中7名の出席により、決議に必要な定款第31条第1項の規定の定足数を満たして、適法に成立した旨を述べた。

続いて議長は定款第32条第2項の規定により代表理事と監事が議事録署名人となる旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。

7. 議事の経過及び議案別議決の結果

第1号議案 令和4(2022)年度事業報告書並びに収支計算書及び貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等案承認の件

議長は本件を上程し、議案の説明を業務執行理事原 尚弘(以下、事務局という)に求めた。事務局は令和4(2022)年度事業報告書を説明した後、収支計算書及び貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等を一括朗読し詳細な説明を行った。議長は次に監事の監査結果の報告を求めた。監事望月利洋が5月12日に事務局立ち合いのもと業務及び会計監査を実施し、監査報告書にある監査意見の内容のとおりであると報告した。

議長はこれに関し質疑および意見の開陳を求めたが、特に発言者がなく、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決確定した。

第2号議案 理事改選の件

議長は本件を上程し、議案の説明を事務局に求めた。事務局は定時評議員会終結と同時に任期満了で理事の改選となる旨を告げた。その上で、定時評議員会には、理事候補として大石剛、鈴木善彦、小野田全宏、山城厚生、松

井妙子の重任と新任として姫岡恭彦(久能山東照宮宮司)、小泉祐子を加え上申したい旨を提案した。議長はこれを議場に諮ったところ、全員異議なく賛同したため定款15条1項、および、21条1項により定時評議員会での選出を上申することとした。

また、6月14日の定時評議員会終了後に臨時理事会を開催し、議案として代表理事及び業務執行理事を選定する旨を提案した。議長はこれに関し質疑及び意見の開陳を求めたが、特に発言者がなく、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

第3号議案 定時評議員会招集の件

議長は本件を上程し、議案の説明を事務局に求めた。事務局は6月14日(水)午前11時より静岡市駿河区登呂3丁目1番1号 静岡 新聞放送会館10階会議室で定時評議員会を開催する案を提出した。議長はこれに関し質疑及び意見の開陳を求めたが、特に発言者がなく、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

8. 報告事項

議長は、報告事項について事務局に求めた。事務局は別紙に記載の通り代表理事及び業務執行理事の職務執行状況を報告した。議長がこの報告を議場にはかったところ、全員異議なくこれを承認した。

議長は以上をもって本日の理事会の議案の審議及び報告は全て終了したことを告げて閉会を宣した。時に午前11時35分であった。上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするために、議事録署名人において、次に記名押印する。

令和5年5月29日

公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団 理事会

代表理事 大石 剛



監 事 望月 利洋

